



平成 27 年 8 月 14 日

各 位

会社名 株式会社セレス  
代表者名 代表取締役社長 都木 聡  
(コード番号：3696 東証マザーズ)  
問い合わせ先 取締役管理本部長 小林 保裕  
電話番号 03-5414-3229

### レジュプレス株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、ビットコインサービス「coincheck」を提供するレジュプレス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：和田晃一良、以下「レジュプレス」）との間で、資本業務提携を行うことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 資本業務提携の理由

当社は、スマートフォン端末をメインデバイスとするインターネットメディアを企画・開発し運営することを主業としており、利用者に対して電子マネー等に交換可能なポイントをインセンティブにインターネット上の様々なアクションを促し収益を得ております。国内最大級のスマートフォン向けポイントサイトであるモッピーに加え、モバトクとお財布.com を運営しております。

一方、レジュプレスはビットコインの持つ可能性に着目し、国内の実店舗や EC サイトで使用することができる決済サービス「coincheck payment」の提供やビットコイン取引所「coincheck」の運営等のサービスを展開しています。決済サービス「coincheck payment」の導入社数は日本 1 位を誇り、取引所「coincheck」の月間取引高は 2015 年 3 月に 1 億円の大台を超えた後、2015 年 7 月には 3 億 5,000 万円を突破しており、ビットコインの認知度の向上とともに取引高を急速に伸ばしております。また、エンジニア出身の社長が自らサービスを構築しており、システムの安定性、セキュリティシステムの認証強化、短時間でスムーズな取引を保証する堅固なサービスなど顧客が安心してビットコインを扱える環境を整えています。

ビットコインは、インターネット上で流通している仮想通貨の 1 つで、オープンソースプロトコルに基づく Peer to Peer 型の決済網です。ビットコインは権力機関や金融機関を介さないため、極めて低いコストでの決済を可能にするとされており、マイクロペイメントや国際送金などへの利用が期待されております。

当社では、現金や電子マネー等に交換可能なポイントサービスを運営しており、そのポイントは一種の仮想通貨であると定義されます。そのため、グローバルな仮想通貨であるビットコインとは非常に親和性が高いと考えております。また、近時 FinTech（フィンテック）と呼ばれる Finance と Technology を併せ持つ領域のベンチャー企業が隆盛しており、技術革新により今後もより質の高いサービスが提供されていくことが予想されます。当社は FinTech 企業であるレジュプレスへの出資を通じて FinTech 領域と当社が運営する各メディアとのビジネスシナジーの可能性を今後も追求してまいります。

#### 2. 資本業務提携の内容等

##### (1) 業務提携の内容

当社が運営する国内最大級のスマートフォン向けポイントサイトであるモッピーが発行するモッピーポイントとレジュプレス（coincheck）が提供するビットコインとの交換を可能といたします。今回の業務提携によりモッピーユーザーは、本年 5 月より提携をしている bitFlyer に加えて coincheck を通じてビットコインにいつでもポイント交換することができ、ビットコインを使ったショッピングでの決済に加え個人間送金や国際送金などに利用することが可能となります。

(2) 資本提携の内容

レジュプレスが第三者割当増資により新株式を発行しその一部を引き受けます。

3. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	レジュプレス株式会社	
(2) 所 在 地	東京都渋谷区桜丘町8-17	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 和田 晃一良	
(4) 事 業 内 容	ビットコインの販売、買取、決済等	
(5) 資 本 金	3,000 万円 (資本準備金を含む)	
(6) 設 立 年 月 日	平成 24 年 8 月 28 日	
(7) 当 社 と 当 該 会 社 と の 間 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません
	人 的 関 係	該当事項はありません
	取 引 関 係	該当事項はありません
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません

4. 日 程

取締役会決議 平成 27 年 8 月 14 日

資本業務提携契約締結日 平成 27 年 8 月 14 日

株式取得日 平成 27 年 8 月 14 日 (予定)

5. 今後の見通し

本件が当社の当期業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、中長期的に当社の業績の向上に資するものと考えております。

以 上

(参考) 当期業績予想 (平成 27 年 5 月 15 日公表分) 及び前期実績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成 27 年 12 月期)	3,125 百万円	429 百万円	423 百万円	276 百万円
前期実績 (平成 26 年 12 月期)	2,420 百万円	329 百万円	308 百万円	293 百万円